

はなみずき

「はなみずき」の花言葉には「私の想いを受けとめてください」という意味があります。
また、小林市にあふれる「花・水・木」など、いろいろな思いが込められています。



小林西高等学校 女子柔道部

■ これ、知っちゃった？

～高校生議会事前学習会・防災訓練・救命講習～

■ 令和6年度決算審査報告

■ 委員会審査報告／表決結果一覧

■ 討論／意見書／区長会との意見交換会

■ 一般質問

■ 表紙のひとコマ／租税教室バスツアー

■ 語り継ぐ小林の歴史

■ 橋本 律子 議員のイチオシ！！

・・・P2～P3

・・・P4～P5

・・・P6～P7

・・・P8

・・・P9～P14

・・・P14

・・・P15

・・・裏表紙



令和7年11月1日発行

第2回 小林市議会 高校生議会 事前学習会

8月6日（水）、小林市内の高校生16名（小林高校6名、小林秀峰高校5名、小林西高校5名）を小林市議会に招き、第2回小林市議会高校生議会に向けた事前学習会を行いました。

高校生は「議会の仕組み・議員について」、「一般質問とは」、「高校生議会について」の説明を受けた後、各高校に分かれて小林市の好きなところや課題などについて、議員と意見交換を行いました。



▲小林高校



▲小林秀峰高校



▲小林西高校

はじめに、議席のマイクを使って自己紹介をし、その後議員からの説明を真剣な表情で聞いていました。

議席に座り一人ずつマイクを使って自己紹介

高校生議会について議員から説明を受ける

小林市の好きなところ・課題を抽出

各学校に分かれて議員と意見交換する様子

意見交換では、小林市の好きなところ、課題を模造紙に貼り出しました。どのグループも多種多様な意見が出ており、高校生の生の声を聞く大変良い機会となりました。

第2回小林市議会高校生議会は、、、
令和8年2月9日（月）
開催予定

今年度は市内3校の高校生が「2人以上のチーム」となって、小林市に対する疑問や課題等について一般質問し、議員が答弁します。2月の本番に向けて担当議員と打合せを行いながら、準備を進めていきます。

小林市の未来を担う高校生の皆さんがどのような視点で一般質問するのかお楽しみに！



事前学習会参加者の集合写真



高校生議会 事前学習会 防災訓練・救急救命講習

を特集します！

8月6日（水）に第2回小林市議会高校生議会事前学習会を、9月1日（月）に防災訓練と救急救命講習を実施しました。今回はその2日間の様子を特集します。

■防災訓練

○目的

①災害時の議事進行確認

②出席者の安全確認

③傍聴者の安全確保

○参加者 総勢50名

（議員・執行部・傍聴者）

○災害想定

本会議中に震度6強の地震発生

○概要

訓練では緊急地震速報（アラーム音）で議長が本会議の休憩を宣言し、議場内の参加者は机の下に身を隠すなどの安全行動の後、議場から避難場所までの経路を確認しながら移動しました。安否確認後、議員は議場に戻って本会議を再開・延会し、災害時対策会議の設置の宣告までの流れを確認しました。

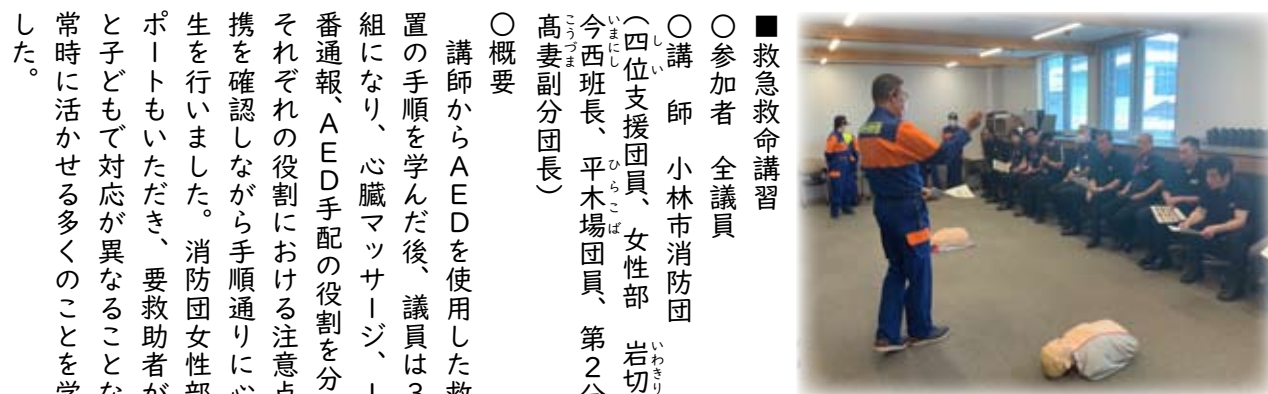
終了後の振り返りでは、議席に折りたたみ式ヘルメットの常設や定期的な訓練実施の必要性など多くの意見が出されました。



災害など緊急時への備え！

～小林市議会 防災訓練・救急救命講習～

南海トラフ巨大地震が今後30年以内に60～90%程度以上の確率で発生すると予測されており、緊急時への備えが重要です。災害に対する関心が高まる今、9月1日の防災の日に伴って防災訓練・救急救命講習を行いました。



■救急救命講習

○参加者 全議員

○講師 小林市消防団

（四位支援団員、女性部 岩切部長、今西班長、平木場団員、第2分団 高妻副分団長）

○概要

講師からAEDを使用した救命処置の手順を学んだ後、議員は3人1組になり、心臓マッサージ、AEDの役割を分担し、それぞれの役割における注意点や連携を確認しながら手順通りに心肺蘇生を行いました。消防団女性部のサポートもいただき、要救助者が大人と子どもで対応が異なることなど非常時に活かせる多くのことを学びました。



決算概要

令和6年度一般会計決算

令和6年度は物価高騰対策経費の減少等により、前年度を下回る決算規模となった。

歳入総額 320 億 8,233 万 6,787 円

減

前年度と比較して…

■都道府県支出金 約 6 億 9,000 万円
■繰越金 約 3 億 2,000 万円
■繰入金 約 2 億 5,000 万円

増

■分担金及び負担金 約 3 億円
■地方特例交付金等 約 1 億 6,000 万円

歳出総額 308 億 6,988 万 9,671 円

主なものとして…

■健幸のまちづくり拠点施設（複合型総合体育施設）整備事業費 約 10 億円
■社会資本整備総合交付金事業費 約 7 億円
■国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会施設整備事業費 約 7,000 万円

経常収支比率は前年度 95.7%から 1.4 ポイント改善の 94.3%

※経常収支比率とは…経常的な経費に経常的な収入がどのくらい充てられているかの比率で、低いほど財政が弾力的といえます。

令和6年度 決算審査報告

経済産業分科会

農業経営の世代交代対策事業費

農業後継者支援や新規就農者経営発展支援などの各事業費補助に 12 人と 1 事業者の申請があり交付した。

Q 年齢制限があるのか。

A 各種事業の要件で年齢制限はあるが、市独自の事業については他事業の関連を踏まえ総合的な調整が必要。

◆委員からの意見◆

退職後に農業に取り組む新規就農者への支援を含め、年齢条件の引上げなどの要件緩和を図られたい。

プレミアム付商品券発行事業費補助

令和6年度は応募数が 9,441 件あり、3 万セットの販売で発行総額 3 億 9,000 万円の事業となった。

Q 経済効果については。

A 市内全体への経済波及効果は 7 億 400 万円で、そのうち地元企業は 3 億 7,000 万円規模の効果があつたと見込んでいる。

◆委員からの意見◆

市民全体へ届くよう、新たな方策についても検討されたい。

市民厚生分科会

民生委員の担い手確保

令和6年度は民生委員に 6 人の欠員が生じた。

Q 担い手確保の取組は。

A 高齢化や病気等で途中退任もあり、なり手確保に苦慮している。熱意ある方のフォロー、活動のデジタル化など検討したい。

◆委員からの意見◆

民生委員は市民に身近な相談役。負担軽減や現役世代でも担える方策を検討し、担い手確保に努められたい。

国保財政と基金繰入

令和6年度決算は歳入総額 61 億円、歳出総額 60 億円で黒字だったが、6,000 万円の基金繰入を行ったことから、実質単年度収支は 1,399 万円の赤字だった。

Q 今後の見通しは。

A 医療費が増加しているため、厳しい財政状況が続く見込み。必要に応じて税率改定や基金の取崩しを検討する。

◆委員からの意見◆

国や県に対してさらなる負担を求めるなど、国保事業の安定的な運営に資する方策を検討されたい。

総務文教分科会

こばやし健幸ポイント事業効果分析

40 歳以上の健康ポイント事業参加者と非参加者の 3 年間の医療費や介護給付費などを比較したもの。

Q 事業の効果は。

A 統計学的な抑制効果は確認されなかったものの、本事業の参加期間が長くなるにつれて、参加群と非参加群の医療費差額が拡大する傾向が確認された。

Q さらなる参加者増加に向けた対策は。

A 健幸アンバサダー事業や健幸の窓口により、健康情報を広く市民に届け、市民総ぐるみで取り組みたい。

令和6年度ふるさと納税額

事業所と連携しマーケティングの強化を図り、シティプロモーション事業と連動したが、目標に及ばず約 13 億 1,000 万円。

Q 目標を達成できなかった要因は。

A 本市の返礼品の主力商品は農畜産物で、供給量が限定されてしまうことや、全国的に日用品の需要が高いこと。

Q 農畜産物以外の返礼品は。

A ミネラルウォーターは安定した供給量が確保できるため、PR したい。

◆委員からの意見◆

ふるさと納税は自治体間競争が激しくなっている。本市が選んでもらえるプロモーションを強化されたい。

◆表決の分かれた議案◆

議案番号	議案名	堀研二郎	小川真	能勢誠	野田利典	松嶺勇一	橋本律子	永野雅己	金松勲	有木将吾	押領司剛	前田隆博	貴嶋憲太郎	竹内龍一郎	舞田重治	吉藤洋子	原勝信	鎌田豊数	大迫みどり	高野良文	表決結果
R6 決算 議案 50	一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案 51	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案 54	介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案 55	後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
R7 補正予算 議案 70	【9 月 11 日追加議案】 一般会計補正予算（第 5 号）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 除：法律により採決に加われない者 -：議長は表決には加わらないため

◆全会一致の議案◆

議案番号	議案名	表決結果
R6 決算 議案 52	物品購入特別会計歳入歳出決算の認定	認定
議案 53	西諸地域介護認定審査事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
議案 56	水道事業会計決算の認定	認定
議案 57	下水道事業会計決算の認定	認定
議案 58	農業集落排水事業会計決算の認定	認定
議案 59	病院事業会計決算の認定	認定
R7 補正予算 議案 61	一般会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議案 62	国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案 63	介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 64	後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 65	下水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 66	病院事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案 71	【9 月 30 日追加議案】 一般会計補正予算（第 6 号）	原案可決

◆その他◆

議案番号	議案名	表決結果
報告案件 報告 7	専決処分した事件の報告 市内店舗駐車場において市有車両が一般車両に接触して発生した物損事故について、損害賠償の額を定めたもの。	報告に対する質疑をもって終了

◎議案の内容
はこちら▶



9 月定例会の
録画配信ページ
はこちら▶



～委員会審査報告～

意
：
見
答
：
弁
問
：
質
問

9 月定例会では、議案 10 件を委員会に付託し審査しました。
■一般会計 2 件、特別会計 3 件、企業会計 2 件 ■条例改正 3 件

総務文教委員会・分科会

◆気象警報変更への対応

（国民保護推進事業費（臨時）
予算額 440 万円）

《議案概要》

気象情報は気象庁から Jアラートを通じて防災無線等で市民へ伝達される。令和 8 年の出水期前に気象庁が各種警報の名称変更等に伴うシステムの改修を行うことから、本市の Jアラート機器を更改する。
なお、財政措置は充当率 100%、交付税措置率 70% の有利な起債である緊急防災減災事業債を活用する。

◆文化会館設備の修繕

（文化会館管理事業費（臨時）
予算額 797 万円）

《議案概要》

文化会館大ホールの舞台装置に係る滑車の劣化・ロープの摩耗による吊り物の落下防止のために緊急修繕する。

◆文化会館は国スポ

のウエイトリフティング競技会場になっており、機材等の整備・点検を徹底されたい。



経済産業委員会・分科会

◆台湾へのトップセールス

（企業立地促進事業費
予算額 148 万円）

《議案概要》

県内で半導体関連産業の誘致に取り組む活動に本市も参加し、市内企業と台湾の経済団体とのビジネスマッチング等を後押しする。

◆本市が参加するメリットは。

半導体企業が本県に進出した際に、関連する企業への発注が見込めるなど多くの波及効果が見込まれる。
台湾と交流のある自治体等とも情報を共有し、本市の PR 活動を図りたい。

◆小林駅周辺の新たな拠点施設

（新しい地方経済・生活環境創生交付金事業費
予算額 2560 万円）

《議案概要》

中央ふれあい広場に全天候型ドームを整備するとともに、駅南 3 号街区公園を一体的に整備するための測量、調査を行う。

◆整備スケジュールは。

市民ワークショップにて意見聴取を行い基本構想を策定し、令和 8 年度にドームの設計・工事を発注、令和 9 年度に完成する計画。

◆若者や子育て世代など多くの市民の意見が反映された施設となるよう市民ワークショップ等を充実されたい。

市民厚生委員会・分科会

◆市立病院の経営状況

（一般会計から病院事業会計へ 4 億円）

《議案概要》

費用増大により年度末に資金不足が見込まれるため、一般会計から 4 億円を病院事業会計に繰り入れる。

◆令和 7 年度上半期の経営状況は。

収入は増えているが、給与費や物価高騰によるその他の経費等が増えており、非常に厳しい状況。

◆繰入金の内容は。

燃料費や労務に係る委託料のほか、病院の運営上不足する額。令和 8 年度に診療報酬改定が予定されているが、物価高騰が継続すれば、病院経営はさらに厳しい状況が続く。

◆今後の一般会計からの繰出しの見通しは。

市立病院は西諸地域全体の中核病院で、地域医療支援病院や災害救急の拠点病院として位置づけられている。西諸全体の問題と捉え、今後も必要な支援を検討していく。

◆あらゆる関係機関との連携を図りながら、安心安全な医療体制の構築に努められたい。



一般質問

市民の声を市政へお届け



議員が日ごろの議員活動を通して疑問に感じていることや改めたいこと、実現すべきことについて質問・提案し、市長・部長等が答弁します。

9月定例会では10人の議員が質問しました。

※一般質問者の二次元バーコードから、録画配信をYouTube（ユーチューブ）でご覧いただくことができます。



令和の米騒動と小林市

問 米の値段が昨年の倍以上に高騰し消費者は困っている。農業を基幹産業とする小林市の分析と対策を伺う。

答 燃油高騰や異常気象による作付け不良など様々な要因が重なり、米が高騰。農家は高値が良く、消費者は安値が良いため、安定した作付けと供給が適正な価格での提供につながる。交付金を活用した農家所得の安定と耕畜連携で農業振興を図る。また、国の動向を注視し、自給力・農家経営安定対策を進めていく。

問 減反政策は廃止されたが、現在の水田の交付金制度の仕組みは。

答 水田活用の直接支払交付金制度でWCS稲、麦、大豆、飼料用米など転作面積にに応じて交付する。



立新会
おがわ まこと
小川 真 議員



詳しくは
こちらへ

小林市 水田・水稲 面積・収量 (農業関係課へ参考)					
(ha) / 年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
水田面積	3342.6	3367.2	3372.2	3331.5	3352.4
水稲栽培	871.3	834.4	810.4	752.7	852.4
WCS・飼料用米	1923.9	1966.5	1966.2	1924.7	1855.2
水稲収量(t)	4583.1	4372.1	4239.4	3918.5	4450.5
一反当たりの収量量:5年平均 523.2kg = 17.44kg/30kg					
★R7:水稲 約100ha増、WCS面積69ha減 水稲収量532tUP見込み					

小林市の水田面積・収量表

■ 農業教育について
■ 防災政策について
その他の質問

問 令和4年度から、5年に一度の水張りが要件となったが。

答 申請後、職員が現地確認し、水張り時と水を抜く前の写真提出により確認している。この要件は令和9年度に撤廃予定。

問 市への交付金額は。

答 令和4年度約6.7億円。令和5年度約6.87億円。令和6年度約7.14億円。

徹底討論

議案第50号 一般会計歳入歳出決算の認定

反対討論

大迫 みどり 議員

経常収支比率は94.3%、財政構造は硬直化。健幸のまちづくり拠点施設整備事業は、財政が厳しい中、建設を進めている。小野湖特設カヌー・ローイング競技場整備も住民の理解を得ての決定ではなく、国スポだからと早々に決定。

金松 勲 議員

賛成討論

物価高騰など厳しい社会情勢の中、有利な財源確保等、健全財政に取り組まれたことで経常収支比率は前年度より1.4ポイント改善。また、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備事業費では、実施競技開催に向けた準備や広報啓発などが図られた。

小川 真 議員

賛成討論

財政収支を黒字にしつつ地方債も減少させた理想的な財政運営。

特別会計等への繰出金は課題だが、職員一人ひとりの経費削減努力による市民サービスの維持を高く評価し賛成。

◎このほか、以下の議案について反対討論がありました。

【決算の認定】大迫議員

議案第51号 国民健康保険事業特別会計、議案第54号 介護保険事業特別会計、

議案第55号 後期高齢者医療事業特別会計

【補正予算】橋本議員

議案第70号 一般会計補正予算（第5号）

意見書案第1号

地方財政の充実・強化を求める意見書

【意見書の概要】

地方公共団体には、少子・高齢化に伴う社会保障制度の整備、DXの推進や物価高騰対策など、極めて多岐にわたる役割が求められているが、地域公共サービスを担う人材は不足している。

このような状況を踏まえ、2026年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、社会全体として求められている賃上げ基調に相応する人件費の確保を含めた地方財政を実現するよう、国に対し強く求める。

意見書全文は
こちらから▼



【結果】

本会議で総務文教委員長から提案理由説明があり、採決の結果、全会一致で可決、関係行政庁へ送付しました。

◆◆小林市区長会の皆さんと意見交換を行いました◆◆

7月22日（火）にKITTO小林2階交流スペースにて小林市区長会の皆さんと意見交換を行いました。

当日は意見交換のみならず、事前に実施したアンケートの報告や、各委員会からの活動報告を行うなどとても有意義な時間となりました。



充実した子育て環境を

産後ケアの現状と課題

問 具体的な取組の内容、実績、課題は。

答 利用者の家庭を訪問するアウトリーチ型で実施し、令和5年度は延べ106件、令和6年度は延べ123件の利用実績である。課題は助産師の不足などである。

問 短期入所（ショートステイ）や日帰り（デイケア）の要望は。

答 ショートステイが必要と思われるケースもあり、実施体制の拡充について検討する。

小・中学校の給食費の軽減

問 児童・生徒の保護者の経済負担軽減のため、給食費の全額補助は。

答 現在、学校給食費の約6



立憲民主党
たけうち りゅういちろう
竹内 龍一 議員



詳しくは
コチラ▶



子育てに寄り添う産後ケア事業を

割を助成。全額補助はさらなる財政負担が生じる。国が学校給食費の無償化を議論しており、動向を注視する。

問 県内の学校給食で有機農産物等を利用している自治体は。

答 えびの市、綾町、高鍋町、木城町の4市町。

問 本市でオーガニック給食の取組はできないのか。

答 有機農産物の安定した量の確保、コスト面などの課題をクリアできる環境を整えていく必要がある。

小林の学校をどうする

学校の在り方意見交換会

問 参加者が少なく、60分の設定で意見交換の時間は25分しかなかったが。

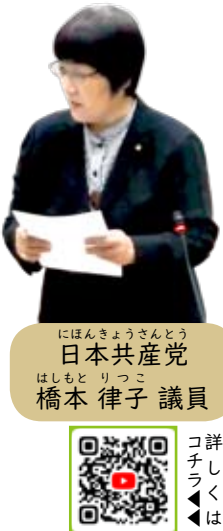
答 他に意見がないことを確認して終了している。多くの貴重なご意見をいただいたと考えている。

問 小林教育みらい検討委員会の提言書にある「自分に対する自信や誇りを育てる」、「地域コミュニティの核としての役割を担う」等は、小学校だけでなく中学生においてこそ大事ではないか。

答 提言書の内容に対する見解等は差し控えたい。

問 提言書は、令和2年の西小林中学校の改築についての要望書がきっかけ。5年も放置されているのはなぜか。

答 今後の在り方の方針に伴い長寿命化計画の改定を行う



日本共産党
はしもと りつこ
橋本 律子 議員



詳しくは
コチラ▶



参加者が少なかった意見交換会

予定である。

意 平成19年の小林市立小・中学校規模適正化審議会の答申を持ち出して、中学校では1学年3学級、6学級が適正規模というのは非現実的ではないか。

難聴者への支援

問 難聴の人が自分の聴力を把握するための方策はとれないか。

答 まちかど健康相談等で、聞こえのチェックについて案内できるような努めたい。

意 補聴器購入助成を実施している自治体は483。困っている人に手を差し伸べてほしい。

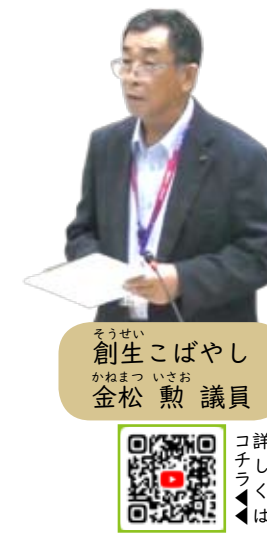
公共施設トイレ整備は

問 令和7年度の小・中学校における洋式トイレの整備状況は。

答 小学校81・3%、中学校60%が整備済である。整備には財源確保が前提であり、有利な財源確保に努めながら進めていく。

問 須木運動広場に隣接する市有施設では、民間の飲食店が施設を借用して営業されている。利用者からは、洋式トイレの要望が多くあると聞く。現在、国スポの工事関係者など利用が増える状況にあるが、市の整備計画は。

答 市との賃貸借契約により飲食店が管理している。現状では公費での整備は厳しいが、須木地区の住民や観光客への貢献度は高いと認識している。今後は、長期的な視点



創生こばやし
かねまつ いさお
金松 勲 議員



詳しくは
コチラ▶



須木中学校の和式トイレの状況

で協議していく。

須木地区の活性化に向けて

問 かるかや代替宿泊施設の進捗状況と今後のスケジュールは。

答 今年度、基本設計を実施。検討委員会を設置し協議しながら、令和10年度の完成を目指す。将来にわたり地域活性化が期待できる観光・地域交流の拠点施設として、交流人口の増、将来的には移住・定住につなげたい。

その他の質問

■不登校対策について

最低賃金1023円へ

問 宮崎地方最低賃金審議会から、県内の最低賃金を1023円とするよう答申があった。安定した事業継続や、雇用確保等の支援策が必要では。

答 賃上げにより経営に大きく影響していると聞く。国が実施する物価高騰対策や、賃上げによる助成制度などの情報を事業者に届けることが重要。国・県の動向を注視し、状況に応じて適切に対応していく。

戦後80年を迎えて

問 小林市出身の日本兵が主人公の映画が上映されている。本市での上映予定は。

答 映画という形で、私たちの知るところとなった。市民にも広く知っていただきたい



創生こばやし
よしふじ ようこ
吉藤 洋子 議員



詳しくは
コチラ▶



休館中の野尻町歴史民俗資料館

と考えており、教育委員会で準備を進めている。

問 戦没者の遺族も高齢化し、限られた遺品を人目にも触れず処分するのではなく、子や孫たちに語り継ぐことが大事。のじりこぴあにある歴史民俗資料館が有効活用されていない。以前、小林史談会から受け入れた指定寄附を活用する考えは。

答 歴史民俗資料館建設のための指定寄附を受けている。歴史資料室のような形で検討していきたい。

その他の質問

■災害時における女性活躍

■HPVワクチン接種取組

社会保障予算こそ増に

問 軍事費（国家予算の「防衛関係費」のこと）だけが突出する一方で、社会保障費は物価の伸びに届かず、実質的には削減だ。本市における社会保障費削減の影響は。

答 少子高齢化など人口の都市圏流出が進む地方自治体では、住民の生活の質を向上させ、持続可能な地域づくりが大きな課題。

問 えびの市に敵基地を攻撃するミサイルが配備される。住民の不安もあると思うが。

答 私から直接どうこう言う立場にはない。

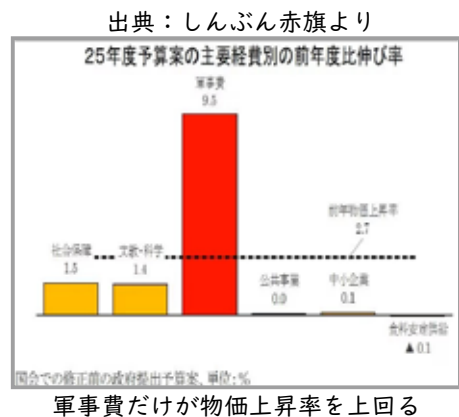
問 受診が必要なら3割負担に

答 本市の国保税は高額で、年収240万円の単身者は、全国一位。高すぎると思うが市長の見解は。

答 医療費の増加や少子高齢



にほんきょうさんとう
日本共産党
おおさこ
大迫 みどり 議員
詳しくは
コチラ▶



問 環境は厳しさを増している。

問 マイナ保険証について、国保税を払えない滞納者への対応は。

答 1年以上の滞納がある場合は、納税相談等により、マイナ保険証、資格確認書を交付している。

問 特別療養費（10割負担）の場合に病気で受診が必要なのは3割負担にできるか。

答 事情を伺い、納税誓約等を取り、3割負担で受診できるように対応している。

問 マイナ保険証を使いたくない人は。

答 登録解除し資格確認書に。

教育保育施設の在り方

問 平成27年の出生数は383人、令和6年は205人と約半減している。各園の現状、運営状況、施設修繕等、今後の見通しは。

答 児童数の動向や地域のニーズを見据えながら保育施設の適正配置、持続可能な保育の運営体制の維持に取組む。

問 現在、学校の在り方に関する意見交換会が開催されている。学校規模の適正化や施設老朽化等の観点から、幼児教育保育施設をどう考えるか。

答 利用児童の減少に伴う収入減により施設の運営、保育士の確保は厳しい状況にある。利用する保護者、運営する法人の意見など地区の状況を踏まえた対応が必要と考え



そうせい
創生こばやし
はらかつのぶ
原 勝信 議員
詳しくは
コチラ▶



元気と笑顔のあふれる子育て環境

問 新生児を含む0〜2歳児の施設入所状況は。

答 直近9月の入所数と対象者に対する割合は、0歳児83名で30・3%、1歳児164名で74・8%、2歳児191名で87・2%である。出生数の減少、保護者の育児休暇取得の進展等により定数に達しない状況。

問 今後の施設支援の考えは。

答 保育の空白をつくらないうち地域課題に応じた保育提供体制の確保に努めたい。

今後の施設の方角性は

答 全般的に老朽化している社会教育施設の複合化などを検討し、中央公民館は令和12年度が活用期限となるため、9年度までに方針を定める。

問 北きりしまコスモドームは。

答 譲渡に伴う公募型プロポーザルを実施する。

問 老朽化した市立図書館の整備の方角性は。

答 施設や設備の老朽化が著しく、駐車場の問題など総合的に勘案していく必要がある。

問 西小林地区の学校施設整備の進捗状況は。

答 本年度、改築に向けた耐力調査を実施し、調査結果を受けて国の交付金等、財源確保ができれば前に進めていく。



りっしんかい
立新会
きじまけんたろう
貴嶋 憲太郎 議員
詳しくは
コチラ▶



老朽化した公共施設

不登校対策の取組は

問 小林中学校内の校内教育支援センターの状況は。

答 支援員を2名に増員し、学習支援や教育相談等を行っている。学校に足が向かなかった生徒が支援センターに通うことができるようになるなど成果が見られる。

問 TENAMUビルに新たに開所した豊かな学び支援室は。

答 利用する子どもたちや先生方の新たな学びの一步となるよう取組んでいく。

学童野球の聖地となれ

問 緑ヶ丘公園野球場の今後の整備方針は。

答 利用頻度も非常に高いことから、今後も利用者の利便性の向上を図りながら、適切な維持管理を図っていく。

意 スポーツ活動を活用した教育機会の提供と新たな大会・合宿の誘致で、経済波及の期待を持ち合わせたロールモデル的な施設として運営できる可能性があると考えている。「学童野球の聖地緑ヶ丘」といったコンセプトを持って有効活用を打ち出し、必要な整備・施策をはっきりさせることで、既存施設をより有効活用できる。

後進の指導者育成

問 指導者の負担、後進の指導者不足の懸念など課題が山



りっしんかい
立新会
ほりけんじろう
堀 研二郎 議員
詳しくは
コチラ▶



駐車場も整備し安全確保を

積している。指導者の育成と確保、指導者研修会の機会の充実、関係組織との連携強化、指導者の活動を支援する制度づくりの方針を伺う。

答 指導者の確保に苦慮している状況にある。指導者の育成については、指導者人材バンクを構築し、指導者への講習会等をスポーツ少年団や各競技団体との連携強化を図りながら進めていく。指導者の活動を支援する制度づくりについては、スポーツ協会による競技団体の育成に加え、指導者の確保・育成も強化するなど必要な支援を行う。



孝ノ子馬頭観世音入口の鳥居



木版画の原板

参考文献…小林史談「ひなもり」第46号
取材・編集…永野 雅己／前田 隆博

「孝ノ子馬頭観世音」に伝わる木版画の原板が現存しています。現在はこの写しを用いていますが、地域の信仰を物語る貴重な資料です。

馬頭観世音は観音菩薩の化身で、仏教の観音菩薩です。牛馬の守護や農耕・交通安全を司り、江戸時代には供養碑も多く建てられました。縁日は旧暦4月8日で、現在は新暦5月8日前後に祭礼が行われ、孝ノ子でも家畜の健康と豊作が祈願されています。

孝ノ子馬頭観世音菩薩は宝暦4年（1754年）に建立され、「かつて孝ノ子釈迦の谷に寺があった」との伝承もあります。明治元年の廃仏毀釈で仏像は散逸しましたが、信者に守られ、昭和13年には区民の浄財（寄付）で現在の高台へ移されました。小林市内には孝ノ子を含め40か所以上の馬頭観音が確認されており、木彫や石像、自然石など多様な形態で祀られています。

語り継ぐ小林の歴史 シリーズ④2

戦略的な地方債の活用



新生会 能勢 誠 議員



詳しくはコチラ

問 地方債は借金ではなく未来に資産を残す次世代への投資である。健康のまちづくり拠点施設、公共施設再編、省エネ・再エネ導入など将来効果が見込める分野にこそ戦略的に活用すべき。公共施設等総合管理計画にも「適正管理推進事業債」の活用がうたわれている。将来投資としてどう考えるか。

答 投資効果の検証と財政健全化を両立し、慎重かつ戦略的に活用することが不可欠である。

ふるさと納税の自前サイト

問 全国では独自ポータルサイトを強化する自治体もある。本市も独自サイトの強化を考えられないか。



自前サイトで経費節減

SEOとは、Search Engine Optimizationの略で、インターネットの検索エンジンで自社のwebサイトが上位に表示されるように行う対策全般を指す。

答 本市では平成27年に独自サイトを開設。現在、寄附の96%は民間サイト、4%が自前サイトである。複数サイトの活用でPRと認知度向上に取り組んでいる。

問 小林市のサイトはSEOが弱く上位表示されない。再構築を検討できないか。

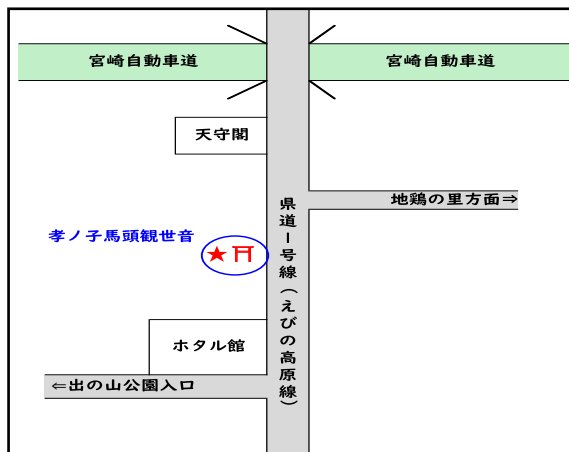
答 開設から年数が経過しており、SEO対策について現行仕様で対応可能か検証が必要である。

○議会への提言・疑問・質問などお寄せください。

○今回の「はなみずき」で関心のあることや感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイデア」があればお寄せください。



孝ノ子馬頭観世音菩薩



孝ノ子馬頭観世音菩薩 アクセスマップ

表紙のひとコマ

小林西高等学校女子柔道部が、8月に岡山県のジップアリーナ岡山で開催された「令和7年度全国高等学校総合体育大会」に出場されました。

表紙は、大会時の集合写真です。

【表紙の写真 左から】

林田 結季さん 2年（個人78kg級2回戦進出）
外本 望咲さん 2年（団体メンバー）
日高 愛理さん 2年（個人78kg級ベスト16 & 団体メンバー）
池田 希愛さん 3年（団体メンバー）
堀切 玲希さん 3年（団体メンバー）

【柔道女子団体結果】 2回戦進出



租税教室バスツアー

8月18日（月）、公益社団法人 小林法人会 青年部会が企画した租税教室バスツアーに参加した市内の小学生が議場見学にいられました。

「議会や議員について」、「税金がどんなことに使われているのか」等についての説明の後、議場のマイクを使って議場体験をしました。



橋本 律子

議員の

イチオシ!!



みつろうラップ



みつろうラップを作る様子

おしえてこすモ〜「みつろうラップ」とは、ミツバチの巣から採取されるみつろうを布に染みこませて作る、繰り返し使える環境に優しいラップのこと。



足下から地球環境を考える 「小林の環境を守る会」

「小林の環境を守る会」の歴史は長く、1997年に産業廃棄物焼却施設建設の賛否を問う住民投票がきっかけで発足されています。

毎月1回、小林駅近くのE-village^{イービルレッジ}に集まって例会を開き、ゴミ問題をはじめとする「足下から地球環境を考える」学習活動をしています。また、講演や映画会の企画や、学校に招かれて環境問題に関する話をすることもあります。最近では「みつろうラップ作り」を楽しみながら続けています。

マイバッグを持つ人が少なかった20年以上前、「小林の環境を守る会」の要望で小林市がエコバッグを製作したことがありました。私は今も愛用しています。

時代を先取りしつつ今できることを提案する「小林の環境を守る会」。現在は「マイボトル運動」に力を入れています。

なるべくマイボトルを持ち歩いて、ペットボトルなどのゴミを減らしましょう！



小林市のエコバッグ

◆次の12月定例会（予定）は

- 開会日・・・11月28日（金）
 - 一般質問・・・12月1日（月）～4日（木）
 - 議案質疑・・・12月8日（月）
 - 閉会日・・・12月17日（水）
- ◎突発的な事情等により変更となる場合があります。

議会
中継

◎定例会の「本会議」はライブ配信しています。インターネット検索またはQRコードからアクセスしてご覧ください。

小林市議会 動画配信

検索



編集後記

連日の猛暑を凌ぎ、令和7年9月定例会の幕を閉じる頃には、爽やかな秋風が議場を撫で、季節の移ろいを告げておりました。

閉会中には区長会との意見交換会や高校生議会事前学習会を開催し、今議会では、令和6年度の決算審査・令和7年度補正予算の審議など、誠に多彩にして実り多きものでありました。視察研修を控え、学びを血肉となし、議会に新たな厚みを加えてまいりたく存じます。

広報広聴委員長 堀 研二郎

----- 切り取ってお出してください -----

料金受取人払



差出有効期間
令和9年7月24日まで
(切手を貼らずにお出ください)

郵便はがき

886-8790

（受取人）

小林市細野300番地

小林市役所 議会事務局
広報広聴委員会 行

（はなみずきNo.74 2025.9月議会号）



ふりがな

ご氏名（イニシャルまたはペンネームでも可）

□□□-□□□□

ご住所

お電話 ()-()-()